



松田さくら保育園

力ある学校づくり、校舎づくりができるように進めていきたい。

質 4月時点の保育所の待機児童はどのくらいか。また、保育所の待機児童と幼稚園の預かり保育の関係はどうなっているのか。

答 (子育て健康課)

待機児童はゼロで、松田さくら保育園は、137名を受け入れた。その中で限界もあるので、3歳・4歳・5歳児については、今後、幼稚園を希望される方には、延長保

育を行い対応していききたい。

質 同報無線のアナログは、もう使われなくなるが、どうされるのか。

答 (安全防災担当室)

アナログの使用は、平成34年11月までが期限となっている。デジタル化も検討しているが、新しい手法も考えていく。

質 税金が減り続けるなか、即効性のある対策として、狭い道や未利用地に道路を作り、人口増を図る必要がある。消防第2分団詰所から砂利線跡

地に抜ける家ノ河原道路計画について、どのように考えているのか。

答 (まちづくり課)

平成28年度に用地買収費を計上している。その後、幅員4・5m、延長

収支・財政

約100mの町道として整備していきたい。砂利線跡地周辺は、宅地造成できる土地があるので、民間企業との連携により、道路と宅地の整備を検討している。

質 町税が、昨年比500万円のマイナス。人口の減少の下げ幅が落ち着いたと言われるが、町民税はどうなるのか。

答 (総務課)

平成28年度総額で9億5900万円となる。増額になった内訳は、地域手当の設定と人事院勧告によるものである。

質 健康福祉センター管理委託料1900万円は、昨年より200万円増額されているが、その理由は何か。

答 (福祉課)

新たに自家発電機の定期点検を行うため、施設設備の保守管理費が増額された。また、入浴施設の券売機が修理不能になり、新たなリース料が増額となった。

質 特産品開発補助金60

万円、松田ブランド事業委託料100万円を計上しているが、同じような経費と思うが、どうして分けているのか。

答 (観光経済課)

特産品と松田ブランドは、全く別なものと考えている。例えば、ミカンやお茶は松田の特産品ではあるが、ブランドではない。ブランドの開発は認定委員会を立ち上げており、専門家を交えて、松田の逸品として認められるものと考えている。

質 平成27年度の特定不妊治療は、どの程度の実績があつたか。28年度の不育症治療はどのくらいの人数をみているのか。一件当たりの単価はいくらか。

答 (子育て健康課)

不妊治療費は、2月末時点で延べ4件の申請があり、48万7600円で、3件は出産に結び付いている。不育症治療は、厚生労働省の研究を考慮に入れ、1件ないし2件で、上限30万円での予算を考えている。

質 駅周辺のまちづくり基本構想が、3年間の債務負担行為で700万円



福祉の拠点 健康福祉センター